

ごあいさつ

当校のホームページをご覧ください、ありがとうございます。令和3年4月1日に着任し、3年目となりました、校長の徳永 和教でございます。よろしくお願いいたします。

当校は、明治44年に南蒲原郡立の三条商工学校として開校いたしました。

その後、郡立から県立となり、県立三条商工学校、戦時中は県立三条工業学校、昭和23年に県立三条実業高等学校、そして、昭和40年には現在の「県立三条商業高等学校」となり、令和5年度には、創立百十三周年を迎える、歴史と伝統ある学校です。

現在、390名を超える生徒が、諸先輩方が築いてきたよき伝統を受け継ぎ、礼儀正しく、学習や部活動・生徒会活動などに前向きに取り組んでいます。

当校の総合ビジネス科では、「地域」、「国際理解」、「コミュニケーション能力」の3つのキーワードを中核に特色化を図り、社会のニーズにあったビジネスのノウハウを多彩なカリキュラムで学ぶことができます。

校長として、これまでの伝統を受け継ぎながら、以下を重点に学校づくりに努めてまいりたいと考えておりますのでご理解とご支援を賜りたくお願い申し上げます。

1 学校教育目標

- 主体的に学ぶ態度を身につけ、地域発展に寄与する実践力を育むこと → 「地域」
- 多様性を尊重する態度を身につけ、自他を大切にすることを育むこと → 「国際理解」
- 社会性等の向上を図り、円滑な人間関係を構築する力を育むこと → 「コミュニケーション能力」

2 学校経営ビジョン

- 授業改善等により、生徒の「主体的・対話的で深い学び」を充実させ、自己実現に努める。
- 県内外の先進的な取組、外部と連携した事業等を取り入れ、商業教育の充実に努める。
 - 電子黒板、ipad等ICT活用の推進
 - 地域連携の推進及び地域への提案や情報発信
(インターシップ、デュアルシステム、学校設定科目「プランニング」、「総合的な探究の時間」等)
 - 1年生及び2年生における「総合的な探究の時間」の学習内容の実施・工夫改善、来年度以降の学習内容や方法等の検討
 - 国際理解教育の推進
- 生徒情報の共有、及び保護者や関係機関等と連携強化により、安全・安心な学校の取組を推進する。 → 組織的な情報共有と支援策検討、教育相談活動の充実
- 週休日等における業務の精選、効率化を進めるなど、本校の働き方改革を進める。
 - 部活動活動状況や自己の業務についての振り返り等
部活動のあり方についての検討等
統合型校務支援システムの活用 分掌の見直し等

3 校長として目指す学校像

- 自分を大切にするとともに、他者を敬う心や態度を育む学校
- 自ら進んで学ぶ力、及び多様性や国際性を涵養する学校
- 地域から愛され、地域とともに生徒の成長を支援する学校

4 学校目標のために、校長が必要と考える教師像

- 生徒や保護者、地域の声を真摯に聴く教師
- 根拠（法的なものなど）をもとに、指導や対応を行う教師
- 常に、教科指導や生徒理解などに係る研鑽を積む教師
- 主体的・対話的で深い学びに係る指導を実践する教師
- 同僚性を発揮できる教師
- リスクマネジメント、ダメージコントロールを意識する教師



令和5年4月1日

新潟県立三条商業高等学校
校長 徳永 和教